

美術科ワークシート①

年 組 号 氏名

題 材 名 生物を生み出そう

学習目標 様々な視点をもって鑑賞を行い、表現のよさや工夫を見付けよう

記入例

<p><b>作品A</b></p> <p>作品 A 画像</p> <p>作品名：ロッキング・マンモス 作者名：ヤノベケンジ</p>	色彩や光の見え方のこと	使われている材料のこと	構成（組み合わせ）のこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンモスは全体的に白い</li> <li>全体的に金属が錆びたような色が見える</li> <li>人物の鎧がカラフル</li> <li>光沢がある部品が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃材</li> <li>金属片</li> <li>鎧</li> <li>歯車</li> <li>ネジ</li> <li>車のパーツ</li> <li>ガスマスク</li> <li>槍</li> <li>縄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンモスの形態になるように溶接している</li> <li>様々な金属が組み合わされている</li> <li>大きいパーツが構成されていて巨大</li> </ul>
	空間・立体感・動きのこと	作品全体のイメージ	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンモスが歩行している</li> <li>隙間は多いが量感がある</li> <li>重厚感がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>荒廃した世界で人間の行動を監視している生物のようなイメージ</li> <li>滅亡した世界に表れた救世主のようなイメージ</li> <li>過去と未来を往来する生物のようなイメージ</li> <li>機械化された人間とマンモスのようなイメージ</li> <li>動きもできないガラクタのようなイメージ</li> <li>廃材が意思をもって組み合わせさせたようなイメージ</li> </ul>	

**MEMO**

- ディーゼルエンジンを動力に鉄鋼廃材で組み上げられた巨体をゆする。構成部品に廃車寸前のヤノベの愛車(トヨタ・ハイエース)が使用されている。前にも後ろにも進むことが出来ない足踏みする 20 世紀のマンモス。

<p><b>作品B</b></p> <p>作品 B 画像</p> <p>作品名：PixCell-Double Deer#4 作者名：名和 晃平</p>	色彩や光の見え方のこと	使われている材料のこと	構成（組み合わせ）のこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>光の反射で鹿の表面が歪んで見える</li> <li>表面のガラスが光って全体が光り輝いている</li> <li>黒（茶色）っぽい</li> <li>無彩色に近い</li> <li>透明な部分が印象的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガラス</li> <li>ビーズ</li> <li>水晶体</li> <li>ビー玉</li> <li>球体</li> <li>鹿（の剥製）</li> <li>土台</li> <li>金属</li> <li>芯材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿のような動物を 2 体組み合わせている</li> <li>表面が無数の球体(ガラス)で覆われている</li> <li>ガラスを接着している</li> <li>大小様々な球体が組み合わされている</li> </ul>
	空間・立体感・動きのこと	作品全体のイメージ	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 体が構成されていて足が動いているように見える</li> <li>首がひねられていて左後方の何かを確認しているように見える</li> <li>球体に覆われていて鹿の輪郭がおぼろげになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の表面から生気が吸い取られていくようなイメージ</li> <li>生物が表面から水分を吸収していくようなイメージ</li> <li>磁気を帯びた物同士が密着しているようなイメージ</li> <li>生物が幽体離脱していくようなイメージ</li> <li>生物が分裂し増殖していくようなイメージ</li> <li>蜘蛛の巣に捕らわれ水滴に覆われた昆虫のようなイメージ</li> <li>実際には存在しない神秘的な生物のようなイメージ</li> </ul>	

**MEMO**

- 「虚像」と「実像」の本質に迫る。ガラス越しに見た鹿の剥製（「虚像」）と物体として確かに存在する鹿の剥製（「実像」）。
- 「もの」を情報として扱う危うさもテーマに。

※アサンブラージュ・・・「寄せ集め」「組み（継ぎ）合わせること」を意味する仏語。日用品や工業生産品、廃物などを寄せ集める手法、あるいはその作品。アッサンブラージュともいう。

※ジャンクアート・・・廃棄物をアサンブラージュなどの手法を用いて集積、構成した美術作品の総称。